

令和3年1月22日

二宮町教育委員会議録

(定例会・臨時会)

二宮町教育委員会

1 開会時間 9時30分

2 閉会時間 12時10分

3 教育長名 森 英夫

4 署名委員 岡野 敏彦

5 教育長及び委員

出欠席	職名	氏名
○	教育長	森 英夫
○	教育委員 教育長職務代理者	山内 みどり
○	教育委員	岡野 敏彦
○	教育委員	渡辺 優子
○	教育委員	野谷 悦

6 出席者氏名

教育部長	黒石 徳子
教育総務課長	下條 博史
生涯学習課長	小笠原 純二
教育総務課長代理	田中 明夫
教育総務課指導班長	境野 朋美
教育総務課教育総務班長	岩崎 稔史
教育総務課教育総務班主任主事	渡邊 一充

7 傍聴者 4名

8 調整者 教育総務課教育総務班主任主事 渡邊 一充

1 開会宣言

(教育長) 令和2年度1月定例教育委員会議を開催します。

2 署名委員の氏名

岡野委員を指名する。

3 教育長事務報告

(教育長) 教育長事務報告を資料に基づいて行う。

(教育部長) 1月政策会議報告を資料に基づいて行う

(各課長) 各課の事務報告・事業予定について資料に基づいて説明する。

- (山内委員) コロナ感染拡大の第一波の際に、速やかに対応できるような対策を試行錯誤しながら作ってきました。図書館では貸出冊数を増やすとか、色んな代替案が出ていて感心していました。今は例えば合唱クラブなら、施設の利用ができなければオンラインレッスンに切り替えることができます。With コロナの暮らし方として人々がそのような切り替えをすんなりできるようになっているので、イベント等に関する告知はできるだけ早めにしても良いと思います。それを踏まえて、成人式についてなのですが、4日に緊急事態宣言が出るだろうと言う話があり、5日にコロナ対策委員会が開かれ、新成人に式典中止の通知をしたのが9日だったとの報告でした。8日発行のタウンニュースで、二宮町の成人式は5日時点の情報だという旨の但し書き付きで開催予定の記載があったと思います。6日に実行委員に開催有無についての相談をし、新成人に個々に通知したのが9日ということになりますが、もう少し早く通知できなかったのかなと思います。実行委員さんにはどのように相談をして、どんな手応えだったのかもお聞きしたいです。
- (生涯学習課長) 5日の対策本部で式典中止が決まったので、その時点ではがきにより対象者に通知をお送りしています。
- (教育部長) 9日に出したのは別の通知になります。
- (山内委員) のちにこんな集まりをやりますよという通知ですね。分かりました。集まったり遠くに移動したりする催しは避けつつも素敵な事をやってあげられたら良いと思います。小田原のある小学校では、日光に修学旅行に行けなかった6年生を日帰りバス遠足にして、学校に戻ってみるとお化け大会を先生達が準備しておられ、先生方がお化けに扮して下さったそうです。そういうようなことがあれば逆に子ども達の心に楽しい思い出として残ります。成人式に限らず工夫して代替りのものを作ってあげて欲しいと思います。
- (野谷委員) 成人式については、落ち着くところに落ち着いたと思いますがその過程の中で、一部の実行委員さんに気持ち的についていけないと思わせたのはいかがなものかと思います。年明けすぐの事でなかなか動きにくかったとは思いますが、小田原市は12

月の段階で、緊急事態宣言が再発令されそうだとということで市と実行委員で方向性を相談して、1月の発令の段階で市長判断という手順を踏んでいたそうなので、二宮もそのようにできたら良かったと思います。

- （教育部長） 年明け4日に始まり、緊急事態宣言発令の見込があるということで、実行委員さんには中止の可能性に対しての意見を求めていたのですが、あまり反応はありませんでした。5日の対策本部で中止が決定した事を報告したところ色々なご意見が生まれて、6日の実行委員会では私も話をさせていただきました。実行委員さん達のお気持ちは大切にしなければいけないものなので、代替事業については時機を見てこれから一緒に考えていくことになりました。実行委員会ではざっくばらんに話のできたので良かったと思います。
- （野谷委員） 4日の時点で実行委員会には意見を募ったという事ですね。
- （教育長） はい、集まる事はできないのでメールで情報を流しました。
- （山内委員） 若い実行委員さん達にはこの事態への対応の仕方に色々な思いがあったと思います。例年成人式では、今日から成人として責任を持って自分で判断し立派に生きていって下さい、という話を毎回祝賀として伝えていますが、今回の経過を通して、緊急事態が出たからには通常開催は止めて、その代わりになる方策を立てるのが正しいあり方だというのを示せて良かったと思います。メディアで新成人へのインタビューを見ましたが、これから大人の自覚を持ってやっていかねばならない、との声を多く聞きました。今回の対応はとても良かったと感じています。
- （教育部長） やらないことについて、医療関係から英断だったとのご意見もいただいています。
- （教育長） 親御さんからは、式典が行われれば自分の子は行くであろう事を危惧していたので、中止にしてくれて良かったという声もありました。これから様々な行事等の教育事業があり、それらについて代替案を考えなくてはいけない時期にきています。緊急事態宣言が延長となることも考えられる為、複数案を用意して右往左往しないように校長会、教頭会でも投げかけています。ご意見いただければ参考にしていきたいと思います。

4 付議事項

（1）議案第19号 二宮町体育施設の設置、管理等に関する条例施行規則の一部を改正する規則について

（生涯学習課長） 二宮町体育施設の設置、管理等に関する条例施行規則の一部を改正する規則について資料に基づいて説明

- （渡辺委員） 全体的には分かりやすくしたものと理解しました。占有利用についてですが、例えば山西プールでは今まで利用日5日前までだったのが一ヶ月前になると言う事なので、普段定期的に使用している団体等には大きく変わる部分について事前に周知し

ていただければと思います。

- （生涯学習課長） ホームページ、広報誌への掲載、該当施設での張り出しで周知をし、定期的な利用のある団体には情報提供をします。4月1日からの変更ですので、その間にお知らせをしていきます。

（教育長） 委員に議案第19号について諮る。

委員全員賛成により、議案第19号は承認される。

5 報告・協議事項

（1）令和3年度二宮町教育委員会基本方針（案）について

（各課長） 令和3年度二宮町教育委員会基本方針（案）について資料に基づいて説明

- （山内委員） 「ラディアン20周年記念事業の推進」が、令和2年では載っていて3年では文面上割愛される形となり、「文化芸術の振興・支援」に含まれる事についてです。この事業に関わる団体は生涯学習課から詳細な説明を受けておりその旨を了承していますが、一般の人が見た時に、2年度に計画していたものがなくなったと誤解されかねません。状況をみながら継続でやっていく、という文言が一行でも入っていたほうが良いと思います。
- （教育部長） その項目を残すこと自体は問題ないと思いますが、予算との兼ね合いもありますので確認してみます。図書館事業のかこさとし展は実施しますが他の事業は延期という扱いになるので、整理して分かりやすく載せるよう検討します。
- （岡野委員） 「児童生徒の生きる力」の中に、「ICT環境を活用した授業の充実」というのがありますが、授業の充実という事であれば先生方の指導力向上の項目に入ると思います。ネットリテラシーの育成とか情報の利活用等、子ども達が何を受け取るのかという視点で表現したほうが分かりやすいと思います。

（2）その他

－ 次回教育委員会予定 －

（教育総務班長） 次回教育委員会議の日程及び出席を要する主な行事について説明。

- （教育総務課長） 小学6年生と二宮中の修学旅行が中止になりました。その代替案として日帰り旅行で思い出作りを、と動いているところですが、まず小学校が中止の案内を出しました。小学校は中郡校長会で二宮・大磯合わせて5つの小学校が梯団を組んで修学旅行を企画しています。そのリーダーである大磯小学校長が作成した文書を発出したところ、中止を今の時点で判断すれば保護者には不要なキャンセル料は発生しない旨が書かれていた事について、お金の話がそこに出ているのが非常に残念だという意見

を保護者からいただきました。事前に文書の内容をこちらで確認したときにキャンセル料についての記載があることに疑問は感じたのですが、そのまま流してしまったのは良くなかったと思っています。

- （教育長） 基本的には保護者へのキャンセル料負担が無い方向でいきたい、と言っているという事ですね。
- （教育総務課長） 校長先生の思いとしては、もし旅行直前に生徒に感染者が出て中止となったらその子が一生心に傷を負うだろう、それは避けたい、というものだったようです。ですが、今決断をすれば、直前の中止によるキャンセル料を保護者が負担せずに済むから、という様な書き方になってしまったので、教育委員会側でしっかり添削をするべきだったと思っています。
- （渡辺委員） 緊急事態宣言以降の卒業式、入学式は、来賓を招かない規模縮小での実施だと思いますが、このまま宣言が延びたり、再発令となったりした時にはまた対応を考えていくということになると思います。修学旅行や成人式中止という苦しい判断をしていかななくてはならない中で、今後は行事をどのように開催していくかということは今から考えていくのが必要かと思えます。
- （教育長） 卒業式、入学式は昨年度の例もありますので子ども達、保護者、学校にとって一番良い方法を取り、2案3案考えていきたいと思えます。
 - （岡野委員） やるかやらないかという判断を迫られていて、いずれにしても数字的な根拠があるわけでもなく、数字で見ても誰が見てもこう、という判断ができない状態かと思えます。ある種の政治的な決断が必要な時だと思えるので、慎重に考えていただきたいです。お金の事は最後についてくるもの、子供たちや保護者の気持ちが最優先である、という考えを正確に伝えられるような方法を模索していけたら良いと切に感じます。やる、やらないの「判断」ではなく「決断」ですから、皆で考えていくことが必要だと思えます。
 - （渡辺委員） 第一波の時は情報も分からない中で休校になり大騒ぎでしたが、一年以上続いて With コロナの中どう生きていこう、というふうに価値観や考えがだんだんと変わってきています。今後も緊急の場合に決断しなくてはいけない状況があると思えますが、単に中止とせず、どのように中止にしない方法でやるか、というふうに発想を変えていく必要があると思えます。修学旅行がなくなる事を、大人が想像するのと子どもが実際に体験するのでは大きな温度差があると思えます。できないという決断をするのは仕方ないですが、教育に携わる大人として子ども達にどうギフトを渡すかという姿勢も問われてくると思えます。言葉一つで誤解を招く事のないように、慎重に皆で意見を出し合っていけたらと思えます。
- （教育総務課長） 学校の名誉の為にもお話しておきたいのですが、この場で決断した理由は、東から順にキャンセルの流れが来てしまっており、この時点でキャンセルして日帰り旅行に振り替えないと予約が取れないという危機感を持ったがゆえの英断だったと聞いています。決してお金の為に判断したのではなく、思い出を残す為のものだったというの

もご了承いただければと思います。

○（岡野委員） その伝え方ですね。決断自体が間違っているのではないので。

○（山内委員） 今の状況は感情ではないと思うんです。生死に関わるどれほど大変な事態かを踏まえれば成人式関係の際使われた、断腸の思い、という言葉はむしろ要らないと思います。こうするべきだ、こう決定する、という姿勢を打ち出した方が良いでしょう。

－ 傍聴者退席 －

4 付議事項

（2）議案第17号 令和2年度二宮町一般会計補正予算（案）について

－ 非公開 －

（3）議案第18号 令和3年度二宮町予算について

－ 非公開 －

12時10分 閉会